

中学校・生活習慣

【 家庭生活について 】

生活に関係するもの

<よい傾向の見られる内容>

- ほとんどの生徒が決まった時刻に起床しており、基本的な生活のリズムが身についている。また、朝食を毎日食べている生徒は、90%を超えている。
- 70%を超える生徒が家族に学校の出来事を話しており、将来について話をする生徒も多い。
- テレビゲームやコンピュータ（スマートフォン）ゲームをする時間が昨年度より短くなってきている。

<課題が見られる内容>

- ◆新聞を週に1回以上読む生徒の割合が27%（前年比△10ポイント）と大きく減り、活字離れの傾向を示すとともに、90%を超える生徒が、テレビやインターネットを主な情報源としており、生活様式の変化が顕著である。
- ◆平日、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットに費やす時間が昨年度より増えている。
- ◆携帯電話やスマートフォンの使い方について、家族との約束を守れていなかったり、十分な話し合いができていなかったりする傾向が見られる。

学習に関係するもの

<よい傾向の見られる内容>

- 平日の家庭学習に取り組む時間が、昨年度より増えている。とりわけ1～2時間、家庭学習をする生徒が多い。
- ほとんどの生徒が、確実に宿題に取り組んでおり、半数の生徒が復習にも取り組んでいる。
- 読書好きな生徒が70%近くおり、放課後や休日の図書館利用率も高い傾向にある。

<課題が見られる内容>

- ◆計画を立てて主体的に家庭学習に取り組んでいる生徒が、半数に満たない。
- ◆読書好きな生徒が多いが、平日の読書時間が10分以下と答えた生徒が40%を超えており、その読書の機会と時間のほとんどは、家庭での読書ではなく学校の朝読書である。

生活習慣の向上に向けて

- ☆各校で作成した「家庭学習の手引き」をもとに、主体的な家庭学習の習慣化（予習・復習）に向け、家庭と連携しながら引き続き取り組む必要がある。
- ☆家庭におけるネット及びネット端末の適正な使用を目指したフィルタリングの徹底と家庭内ルールづくりを進める。

【 学校生活について 】

<よい傾向が見られる内容>

- ほとんどの生徒が、友人に会うのが楽しいと感じており、学級みんなで協力してやり遂げた達成感を感じている生徒も多い。

○先生に自分のよいところを認められていると感じている生徒や、テストの間違いやわからないことをわかるまで教えてもらっていると感じている生徒が80%近くいる。

<課題が見られる内容>

◆多くの生徒が、「好きな授業がある」、「学校が楽しい」と感じている一方、そうでないと言い切る生徒が10%近くいる。

学校生活の向上に向けて

☆生徒会活動に代表される、生徒の自治的、主体的活動の保障と更なる充実を図る必要がある。
☆生徒一人一人が、将来のキャリアも見据えながら主体的に学び、学ぶ喜びを実感できる授業づくりに向けた指導方法の更なる工夫・改善を進めていく必要がある。

【 人や地域との関わりについて 】

<よい傾向が見られる内容>

- 地域行事に参加している生徒が70%近くいる。
- 地域社会の出来事や様子に70%を超える生徒が関心を持ち、地域をよりよくするために何かを考えている生徒も比較的多い。
- 70%近い生徒が、「外国のことをもっと知りたい」、「友達になりたい」と答えている。



【 自己について 】

<よい傾向が見られる内容>

- ほとんどの生徒が「人の役に立ちたい」と考え、「人が困っている時は、進んで助けている」と答えた生徒が85%を超えており、自己有用感が高い。
- ほとんどの生徒が、「学校の規則」や「友人との約束」を守っており、規範意識は高い。
- 70%を超える生徒が「失敗を恐れず、挑戦する気持ち」を大切にしている。また、70%近い生徒が「将来への夢や希望」を持っており、いずれも増加傾向にある。

<課題が見られる内容>

- ◆ほとんどの生徒は、「いじめはどんな理由があっても許されない」と思っているが、強くいじめを否定できる生徒の割合が減少傾向にある。
- ◆「自分によりところがある」と感じている生徒の割合が減少している。

内面を育てるために

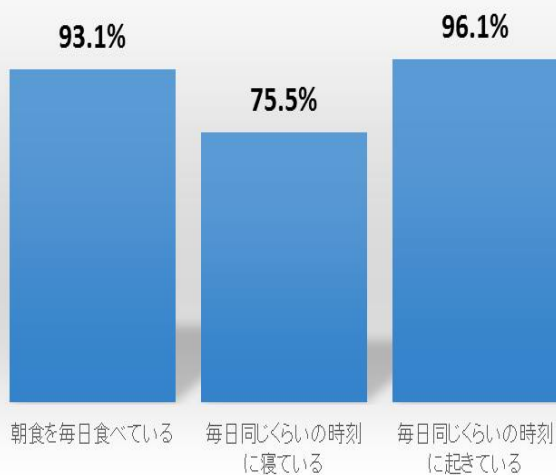
☆「新温泉町いじめ防止基本方針」を基にした、いじめをしない、させない、許さない生徒の育成に向けた家庭・地域・学校の連携を強化し、併せて人権意識の高揚を図る。
☆家庭・地域・学校が連携した体験活動の充実を図り、かけがえのない自分を認識させ、自己肯定感の高揚を図る。

今後に向けて

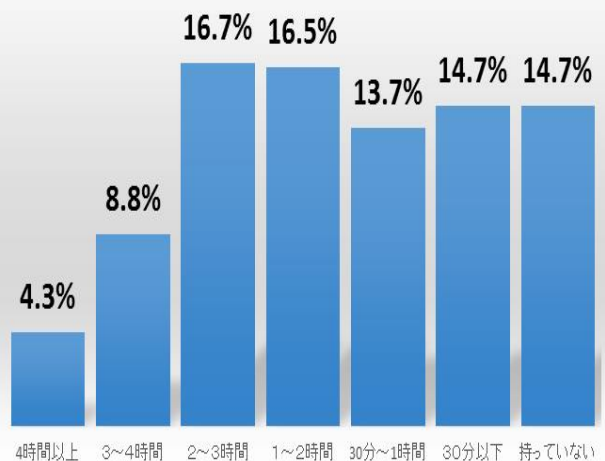
- ⇒平成 25 年度に決めた「家庭学習の6つのやくそく」を一層徹底し、基本的な生活習慣、学習習慣の更なる定着を図る。
- ⇒家庭、学校、関係機関と連携して、ネット依存やネットトラブル等の防止に向けた情報共有及び防犯教室等を開催し、生徒の情報モラルの醸成を図る。
- ⇒家庭、地域、学校と連携した「体験活動」の更なる充実と「ふるさと意識」の醸成を目指し、豊かな人間関係が築く豊かな人間性を育てる。

【 家庭や地域での生活の様子 】

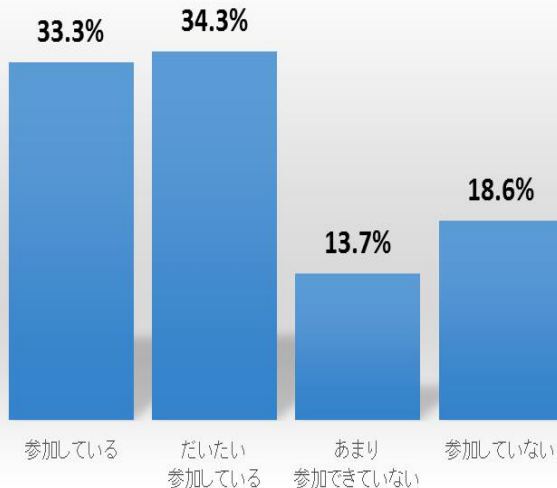
基本的な生活習慣



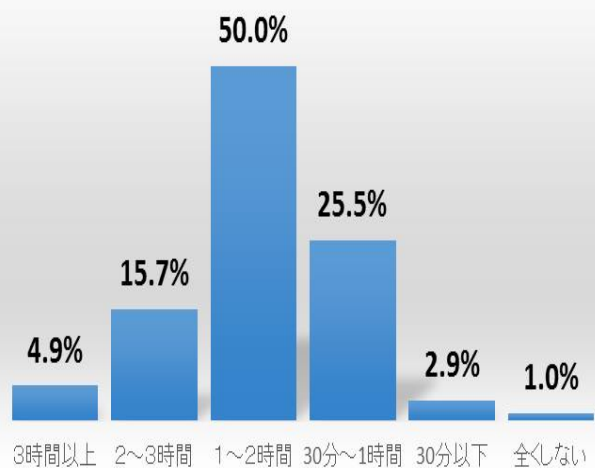
平日に携帯電話・スマートフォンを使用する時間



地域行事への参加



平日に家庭学習をする時間



(平成29年度 生徒総数102名)